

平成30年度に建設工事で発生した事件事例（落下による物損事故）

【事故概要】

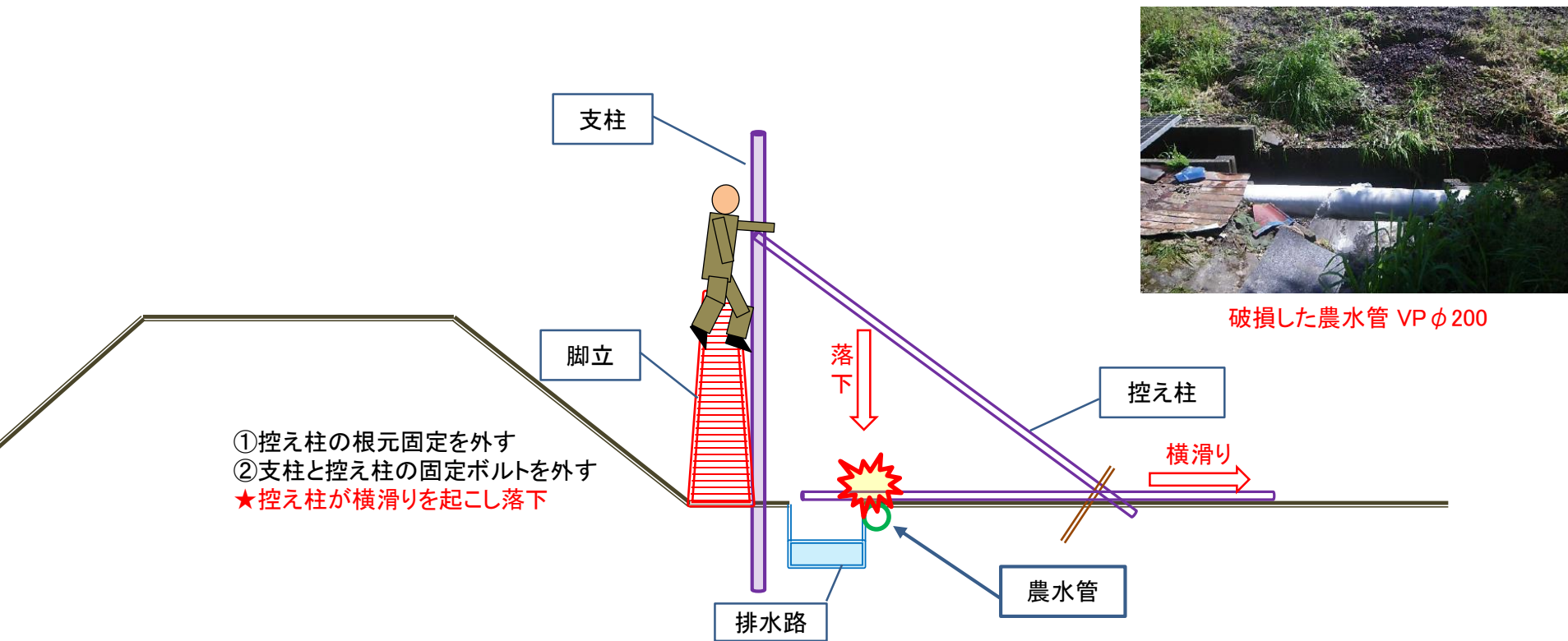
仮設電源の支柱撤去作業を人力で行っていた際、支柱の控え柱が横滑りを起こし、支え切れずに落下し、控え柱直下にあった農水管VPφ200(露出配管)を直撃、破損した。

【事故原因】

- ・墜落や落下の危険性が予測できたにもかかわらず、脚立のみで撤去作業を行っていた
- ・農水管の存在を把握していたにもかかわらず、養生(管の防護)を行わなかった
- ・作業員1名による単独作業を行っていた

【改善対策】

- ・墜落や落下の危険性がある場所で作業する場合は、足場板等の作業床を設置する
- ・破損の恐れがある構造物が近接する場合は、養生を行っておく
- ・単独作業を禁止し、複数の作業員による施工体制を確保する



【分類】 仮設電源、撤去

【被害状況】 農水管VPφ200(露出配管)破損

平成30年度に建設工事で発生した事故事例（その他の事故）

【事故概要】

発電機から道路路肩に配置していた電気コードの先端を拾い上げるためにしゃがんだ際、路肩に生えていた枯草（ススキの茎）が左目に入り負傷した。

【事故原因】

- ・周辺の枯草に十分な注意をはらわなかった
- ・軽微な怪我と自己判断し、すぐに現場担当者に報告しなかった

【改善対策】

- ・周辺状況に十分な注意をはらい、安易な行動をとらない
- ・現場で起きた怪我、事故については、自己判断せず、すぐに現場担当者に報告し、判断を仰ぐ



【分類】 仮設電源、撤去

【被害状況】 左目眼球打撲、結膜裂傷（1週間の安静）